

マイクロソフト (MSFT)

【セクター】 ソフトウェア

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

米国のソフトウェア大手で、クラウドサービスの「Azure（アジュール）」とサーバー関連製品で構成されるインテリジェント・クラウド部門や、「Microsoft 365（ワードやエクセル等のサブスクリプション）」等が占めるプロダクティビティ・アンド・ビジネス・プロセス部門、「Windows」やノートPCの「Surface（サーフェス）」、ゲーム関連が含まれるモア・パーソナル・コンピューティング部門を通じて事業を展開しています。ChatGPTで有名となったオープンAIへ投資しています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

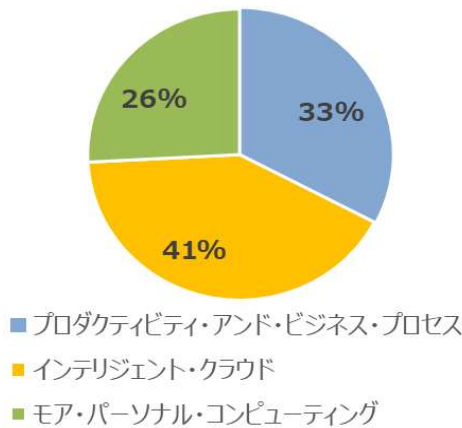
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.6期	198,270	69,447	9.21	2.48	22.3	47.2	45.6
23.6期	211,915	73,307	9.81	2.72	27.7	38.8	50.1
24.6期（予）	244,508	86,365	11.58	2.91	37.9	34.1	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

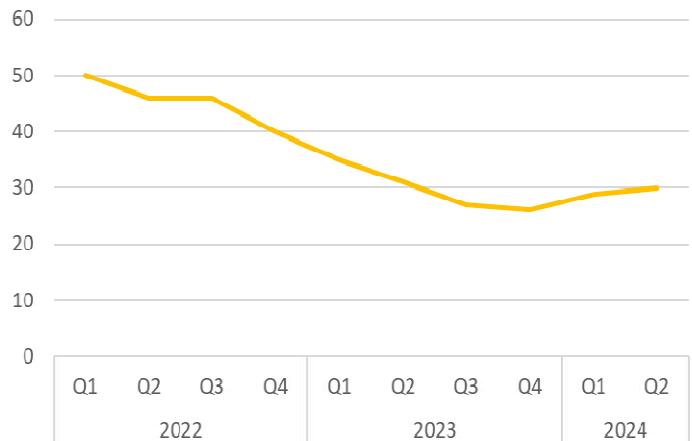
【主要指標】

売上高構成比率（2023年6月期）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

Azure&その他クラウドサービス売上高成長率（前年比、%）



（出所）Bloombergデータ、会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

現在成長を牽引しているのは「Azure」などのクラウド事業です。「Azure」の成長率は一時から見ると鈍化しているものそれでも高い成長率を持続しています。また、2023年1月にはAI分野強化として、ChatGPTで一躍有名となったオープンAIへの追加投資（複数年で数十億ドル）も明らかになり、今後の戦略分野として注目されそうです。さらに、2023年10月には米大手ゲームメーカーのアクティビジョン プリザードの大型買収完了を発表しました。メタバースなどが注目されるなか、今回の買収で業績の追い風となる可能性があります。世界には約30億人のゲーム人口がいるとされ、巨大なマーケットとなっています。クラウド、AI、ゲームの分野で競争優位なポジションにあると考えられます。

【見通し・注目点】

2023年10-12月期の売上高は前年比18%増の620億ドルで市場予想を上回り、EPSも市場予想を上回りました。部門別ではプロダクティビティ・アンド・ビジネス・プロセス部門の売上高が同13%増、インテリジェント・クラウド部門が同20%増、モア・パーソナル・コンピューティング部門が同19%増となりクラウドが牽引役です。注目のAzure&その他クラウドサービスの売上高は同30%増で前四半期（29%増）から伸びが改善しました。AI需要が売上高成長率の押上げに寄与しています。

## 本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。